

[シラス]

経年経過及び平成17年10～11月期の漁況の経過

バッチ網漁業の漁獲量は、西薩海域では平成11年の6,060トン进行ピークに減少傾向を示し、平成14、15年と1,000トンを下回り低調に推移しました。平成16年は3,507トンと好漁の年となりました。志布志湾海域では平成12年の1,407トン进行ピークに減少傾向を示し、平成14年は396トンまで減少しましたが、平成15年は842トンまで増加し、平成16年は1,204トンと好漁の年となりました。

今期の西薩海域では、カタクチシラス主体に542.4トンの水揚げで、前年の89%、平年の198%でした。志布志湾海域では、カタクチシラス主体に216.8トンの水揚げで、前年の68%、平年の92%でした。

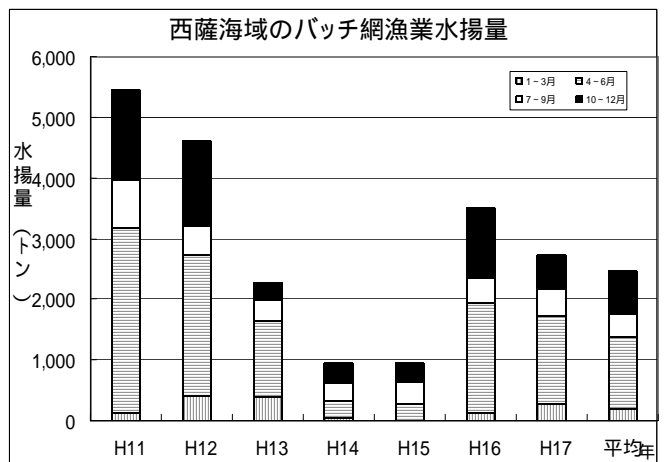
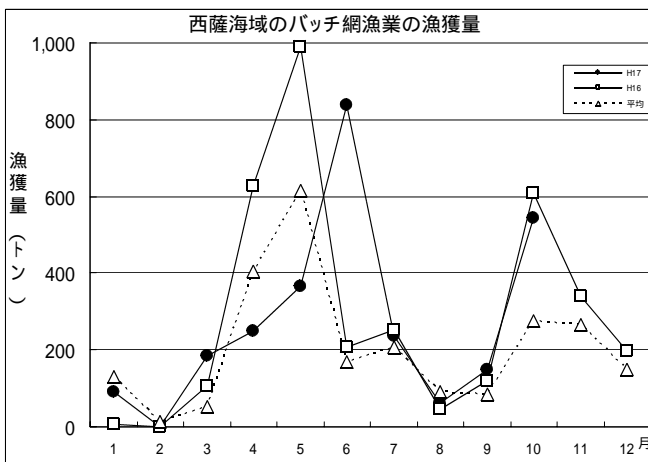


図 西薩海域バッチ網漁業の漁獲量変化(4漁協計)

平年値は過去5年(平成12～16年)の平均値、平成17年10月までの水揚げ量を使用。

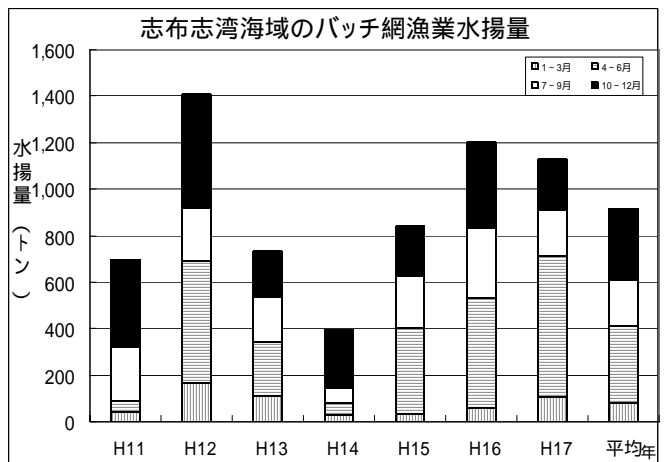
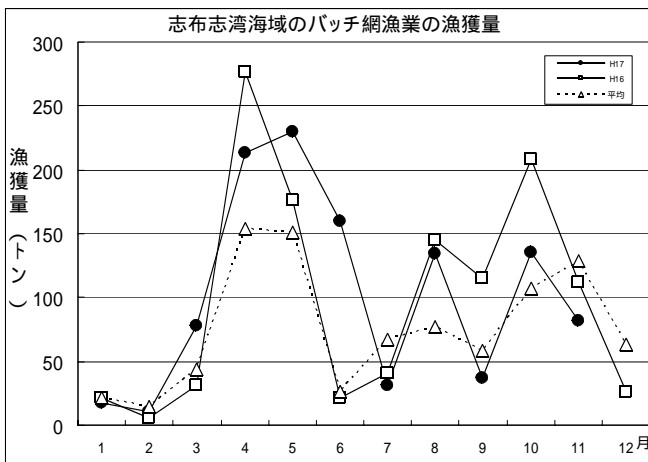


図 志布志湾海域バッチ網漁業の漁獲量変化(2漁協計)

平年値は過去5年(平成12～16年)の平均値、平成17年11月までの水揚げ量を使用。